



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月7日

上場会社名 三櫻工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6584 URL http://www.sanoh.com/
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 竹田 玄哉
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 長谷川 貴之 TEL 03-5793-8411
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-----|-------|------|-------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年3月期第1四半期 | 34,677 | 3.7 | 2,463 | 2.7 | 2,740 | 124.0 | 1,917 | — |
| 29年3月期第1四半期 | 33,449 | 7.0 | 2,399 | 51.1 | 1,223 | △18.4 | 73 | △86.4 |

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 2,336百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 △1,644百万円 (—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期第1四半期 | 52.68 | — |
| 29年3月期第1四半期 | 2.02 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|---------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 30年3月期第1四半期 | 106,429 | 37,334 | 32.8 | 959.82 |
| 29年3月期 | 104,219 | 35,581 | 31.9 | 914.71 |

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 34,933百万円 29年3月期 33,291百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期 | — | 12.00 | — | 12.00 | 24.00 |
| 30年3月期 | — | — | — | — | — |
| 30年3月期(予想) | — | 12.50 | — | 12.50 | 25.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|---------|-----|-------|-------|-------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 69,000 | 4.7 | 3,000 | △20.5 | 2,900 | 31.8 | 1,200 | 64.8 | 32.97 |
| 通期 | 138,000 | 3.1 | 5,700 | △5.1 | 5,600 | 3.9 | 2,000 | 86.3 | 54.95 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 30年3月期1Q | 37,112,000株 | 29年3月期 | 37,112,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 30年3月期1Q | 716,459株 | 29年3月期 | 716,377株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 30年3月期1Q | 36,395,598株 | 29年3月期1Q | 36,395,705株 |

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び注意事項については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報等) | 10 |
| (その他の注記事項) | 12 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経済環境は、雇用情勢が改善し、個人消費が緩やかに持ち直したほか、設備投資や輸出が持ち直すなど、景気は緩やかな回復基調が続きました。海外においては、米国は景気回復が続き、欧州は緩やかな回復基調が継続する一方で、米国の新政権による政策運営やユーロ圏での不安定要素により先行きに不透明な要因があります。中国は各種政策効果により景気に持ち直しの動きがみられ、アジアでは総じて緩やかな景気回復が続いております。

このような環境のなか、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は346億77百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は24億63百万円（前年同期比2.7%増）と増収、増益となりました。また経常利益も27億40百万円（前年同期比124.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益も19億17百万円（前年同期比は73百万円の四半期純利益）とそれぞれ増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

客先生産台数の増加等により、売上高は83億31百万円（前年同期比2.6%増）となりましたが、営業利益は主に人件費や設備費等の固定費の増加により、2億45百万円（前年同期比23.5%減）となりました。

②北南米

米国子会社を中心とする売上増加により売上高は120億45百万円（前年同期比1.9%増）となりました。一方営業利益は米国子会社における売上増を超える比例費の増加及び人件費等の増加により10億74百万円（前年同期比25.6%減）となりました。

③欧州

ドイツ子会社における売上の増加により、売上高は58億89百万円（前年同期比4.4%増）となりました。また、ドイツ子会社における材料費等の比例費の減少に加えロシア子会社の復調及びイギリス子会社が引き続き好調に推移したことも寄与し、2億66百万円の営業利益（前年同期は58百万円の営業損失）となりました。

④中国

客先生産台数の増加により、売上高は33億8百万円（前年同期比4.0%増）と増収となりましたが、営業利益は人件費等の固定費の増加により1億96百万円（前年同期比11.6%減）と減益となりました。

⑤アジア

既存モデル及び新モデルの生産量増大によりタイ及びインドネシアの子会社の売上増が寄与し、地域全体でも売上高は51億4百万円（前年同期比8.8%増）、営業利益は6億93百万円（前年同期比30.5%増）と増収、増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は1,064億29百万円となり、前連結会計年度末に比べて22億10百万円増加しました。主な要因は売上債権の増加9億99百万円、仕掛品の増加8億99百万円、有形固定資産の増加4億73百万円等であります。

負債合計は690億95百万円となり、前連結会計年度末に比べて4億57百万円増加しました。主な要因は賞与引当金の増加6億98百万円、製品保証引当金の減少4億2百万円、仕入債務の増加3億9百万円、短期借入金の増加2億円、長期借入金の減少3億75百万円等であります。

純資産は373億34百万円となり、前連結会計年度末に比べて17億53百万円増加しました。主な要因は利益剰余金の増加14億80百万円、退職給付に係る調整累計額の増加1億80百万円、非支配株主持分の増加1億11百万円等であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、営業活動により26億16百万円増加、投資活動により19億57百万円減少、財務活動により1億80百万円減少などの結果、当第1四半期連結会計期間末には124億32百万円(前連結会計年度末比5億8百万円増)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られたキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が27億29百万円(前年同期は7億38百万円)、減価償却費が12億74百万円(前年同期は12億40百万円)、退職給付に係る負債の増加による資金増が1億18百万円(前年同期は3億57百万円の資金増)、売上債権の増加による資金減が10億2百万円(前年同期は3億15百万円の資金減)、仕入債務の増加による資金増が2億56百万円(前年同期は11億49百万円の資金増)、賞与引当金の増加による資金増が7億33百万円(前年同期は7億12百万円の資金増)、未払金の減少による資金減が4億2百万円(前年同期は3億60百万円の資金減)、法人税等の支払による資金減が9億4百万円(前年同期は8億31百万円の資金減)などにより、前年同期と比較して9億12百万円減少し、26億16百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用されたキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出19億42百万円(前年同期は16億87百万円の支出)などにより、前年同期と比較して2億77百万円増加し、19億57百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用されたキャッシュ・フローは、短期借入金の純増加による収入8億24百万円(前年同期は6億92百万円の支出)、配当金の支払による支出4億37百万円(前年同期は4億37百万円の支出)などにより、1億80百万円(前年同期は17億17百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月12日の「平成29年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

なお、平成29年8月7日に公表しました「当社グループ製品搭載車種の市場回収処置(リコール)について」に記載のとおり、現時点において当社グループが負担する補修費用の最終的な負担額は確定しておりません。今後、算定が可能な状態となり次第、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 11,924 | 12,432 |
| 受取手形及び売掛金 | 18,967 | 19,966 |
| 電子記録債権 | 594 | 464 |
| 製品 | 3,899 | 3,624 |
| 仕掛品 | 5,936 | 6,835 |
| 原材料及び貯蔵品 | 10,538 | 9,994 |
| 繰延税金資産 | 919 | 1,035 |
| その他 | 2,247 | 2,349 |
| 貸倒引当金 | △136 | △154 |
| 流動資産合計 | 54,889 | 56,545 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 16,243 | 16,245 |
| 機械装置及び運搬具 | 60,351 | 61,048 |
| 工具、器具及び備品 | 10,828 | 10,783 |
| 土地 | 3,983 | 3,984 |
| リース資産 | 769 | 974 |
| 建設仮勘定 | 4,138 | 4,471 |
| 減価償却累計額 | △60,249 | △61,040 |
| 減損損失累計額 | △3,377 | △3,306 |
| 有形固定資産合計 | 32,686 | 33,159 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 509 | 483 |
| リース資産 | 28 | 25 |
| その他 | 705 | 663 |
| 無形固定資産合計 | 1,242 | 1,171 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 9,293 | 9,343 |
| 長期貸付金 | 7 | 0 |
| 繰延税金資産 | 5,504 | 5,576 |
| その他 | 597 | 634 |
| 投資その他の資産合計 | 15,402 | 15,554 |
| 固定資産合計 | 49,330 | 49,884 |
| 資産合計 | 104,219 | 106,429 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 10,168 | 10,477 |
| 電子記録債務 | 4,134 | 3,979 |
| 短期借入金 | 12,543 | 12,743 |
| 未払金 | 2,168 | 1,771 |
| リース債務 | 116 | 120 |
| 未払法人税等 | 1,060 | 931 |
| 未払消費税等 | 353 | 534 |
| 賞与引当金 | 1,081 | 1,779 |
| 役員賞与引当金 | 23 | 53 |
| 製品保証引当金 | 818 | 416 |
| その他 | 3,720 | 4,275 |
| 流動負債合計 | 36,185 | 37,077 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 10,395 | 10,020 |
| リース債務 | 214 | 401 |
| 繰延税金負債 | 114 | 156 |
| 役員退職慰労引当金 | 174 | 174 |
| 退職給付に係る負債 | 21,043 | 20,949 |
| その他 | 514 | 317 |
| 固定負債合計 | 32,453 | 32,018 |
| 負債合計 | 68,638 | 69,095 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,481 | 3,481 |
| 資本剰余金 | 2,628 | 2,628 |
| 利益剰余金 | 31,032 | 32,512 |
| 自己株式 | △477 | △477 |
| 株主資本合計 | 36,663 | 38,144 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,995 | 4,027 |
| 為替換算調整勘定 | △3,044 | △3,095 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △4,323 | △4,143 |
| その他の包括利益累計額合計 | △3,372 | △3,211 |
| 非支配株主持分 | 2,290 | 2,401 |
| 純資産合計 | 35,581 | 37,334 |
| 負債純資産合計 | 104,219 | 106,429 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 33,449 | 34,677 |
| 売上原価 | 27,780 | 28,791 |
| 売上総利益 | 5,669 | 5,886 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,270 | 3,424 |
| 営業利益 | 2,399 | 2,463 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 7 | 11 |
| 受取配当金 | 66 | 75 |
| 為替差益 | — | 285 |
| その他 | 33 | 26 |
| 営業外収益合計 | 106 | 398 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 96 | 78 |
| 為替差損 | 1,155 | — |
| その他 | 31 | 43 |
| 営業外費用合計 | 1,282 | 121 |
| 経常利益 | 1,223 | 2,740 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 3 | 3 |
| 特別利益合計 | 3 | 3 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 1 | 1 |
| 固定資産除却損 | 1 | 12 |
| 減損損失 | 487 | — |
| 特別損失合計 | 488 | 13 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 738 | 2,729 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 815 | 761 |
| 法人税等調整額 | △344 | △182 |
| 法人税等合計 | 470 | 580 |
| 四半期純利益 | 267 | 2,150 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 194 | 232 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 73 | 1,917 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 267 | 2,150 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △651 | 32 |
| 為替換算調整勘定 | △1,491 | △27 |
| 退職給付に係る調整額 | 231 | 180 |
| その他の包括利益合計 | △1,912 | 186 |
| 四半期包括利益 | △1,644 | 2,336 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △1,719 | 2,079 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 75 | 257 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 738 | 2,729 |
| 減損損失 | 487 | — |
| のれん償却額 | 14 | 14 |
| 減価償却費 | 1,240 | 1,274 |
| 有形固定資産売却損益(△は益) | △3 | △2 |
| 有形固定資産除却損 | 1 | 12 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 357 | 118 |
| 受取利息及び受取配当金 | △73 | △86 |
| 支払利息 | 96 | 78 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △315 | △1,002 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △619 | △117 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 1,149 | 256 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 712 | 733 |
| 未払費用の増減額(△は減少) | 402 | 64 |
| 未払金の増減額(△は減少) | △360 | △402 |
| その他 | 614 | △148 |
| 小計 | 4,439 | 3,523 |
| 利息及び配当金の受取額 | 72 | 86 |
| 利息の支払額 | △153 | △89 |
| 法人税等の支払額 | △831 | △904 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 3,528 | 2,616 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,687 | △1,942 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 120 | 20 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △112 | △4 |
| その他 | △1 | △31 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,680 | △1,957 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △692 | 824 |
| 長期借入金の返済による支出 | △588 | △423 |
| 配当金の支払額 | △437 | △437 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | — | △145 |
| その他 | △0 | △0 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,717 | △180 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △435 | 29 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △304 | 508 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 13,015 | 11,924 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 12,711 | 12,432 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|-------------------------------|---------|--------|-------|-------|-------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 日本 | 北南米 | 欧州 | 中国 | アジア | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| (1) 外部顧客への 売上高 | 8,120 | 11,816 | 5,642 | 3,181 | 4,690 | 33,449 | — | 33,449 |
| (2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | 4,260 | 68 | 26 | 536 | 121 | 5,010 | △5,010 | — |
| 計 | 12,379 | 11,884 | 5,668 | 3,718 | 4,810 | 38,459 | △5,010 | 33,449 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 320 | 1,443 | △58 | 222 | 531 | 2,458 | △59 | 2,399 |

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△5,010百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△59百万円には、のれんの償却額△14百万円、顧客関連資産の償却額△26百万円およびたな卸資産等の調整額△19百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて、487百万円の減損損失を計上しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|-------------------------------|---------|--------|-------|-------|-------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 日本 | 北南米 | 欧州 | 中国 | アジア | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| (1) 外部顧客への 売上高 | 8,331 | 12,045 | 5,889 | 3,308 | 5,104 | 34,677 | — | 34,677 |
| (2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | 4,343 | 157 | 54 | 463 | 195 | 5,213 | △5,213 | — |
| 計 | 12,674 | 12,202 | 5,943 | 3,772 | 5,299 | 39,890 | △5,213 | 34,677 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 245 | 1,074 | 266 | 196 | 693 | 2,473 | △11 | 2,463 |

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△5,213百万円は、セグメント間取引消去の金額であります。

(2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△11百万円には、のれんの償却額△14百万円、顧客関連資産の償却額△25百万円、技術関連資産の償却額△3百万円、貸倒引当金繰入の取消額29百万円、たな卸資産の調整額△39百万円及び固定資産に係る未実現消去額41百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項なし。

(その他の注記事項)

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

当社の連結子会社が過去に製造した自動車用部品に関連し、得意先より当該部品を組み込んだ約2万台の自動車について市場回収処置(リコール)の届出が行われました。現時点において最終的な負担額は確定していないため、合理的に見積もることのできる金額を費用計上しております。